

Geoslicer (ジオスライサー) ハンディージオスライサーによる 河口汽水域での古環境調査



●水門建設による河口域の汽水環境の悪化



●河床の環境悪化（腐泥の堆積）



●河口岸辺での堆積物採取状況



●ボートからの河床堆積物採取状況



●採取された堆積物試料

背景

- ・河口部の汽水域は希少な生物相を持つため、特に保全すべき自然環境の1つである。
- ・治水・利水の必要性から河川改修が行われた結果、汽水域の自然は徐々に失われ、環境悪化の一途をたどっている。
- ・汽水環境の保全と再生という観点から、環境悪化した河口部を以前の状態に戻す「自然再生」の取り組みがある。
- ・過去いつの状態に戻すかの目標を定めるにあたり、河床の堆積物を対象に調査・復元される古環境が指標となる。

ハンディージオスライサーの特徴

- ・人力のみで、容易に地層採取が可能である。
- ・ボート等を利用すれば、水面下の河床堆積物が採取可能である。
- ・採取した地層は、その場ですぐに観察できる。
- ・必要に応じて、地層断面として実験室に持ち帰ることが可能である。
- ・地層の剥ぎ取り標本作製も容易である。

※ハンディージオスライサーは地層抜き取り調査法（特許：JP2934641, JP2981542）を応用したものです。
※ジオスライサー（Geoslicer）は、復建調査設計（株）の登録商標です

復建調査設計株式会社

URL <http://www.fukken.co.jp>

お問合せ先

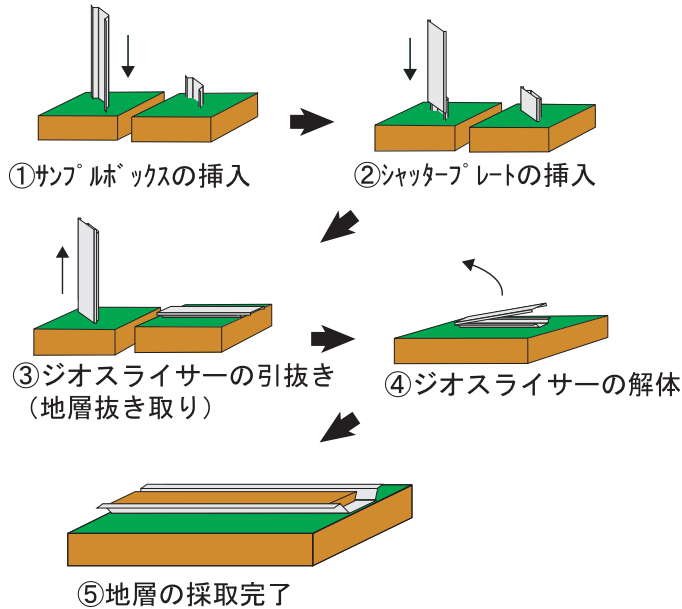
- 東京支社 第一技術部
- 四国支社 地盤技術課
- 九州支社 地盤技術課

- 担当：高田 TEL (03) 5835-2631 FAX (03) 5835-2632
- 担当：木下 TEL (087) 826-1913 FAX (087) 826-2026
- 担当：市原 TEL (092) 471-8324 FAX (092) 415-3751

本社 〒732-0052 広島県広島市東区光町2丁目10-11 TEL (082) 506-1833 FAX (082) 282-5215

ジオスライサーの概要

- ・地層をスライス断面として、採取する方法とその装置。
- ・日本発の独自技術（特許番号：2934641）。
- ・サンプルボックスとシャッタープレートとを、地中で併合させるようにそれぞれ別々に地中に打ち込み、2枚の平板に挟まれた地層を抜き取る方法。

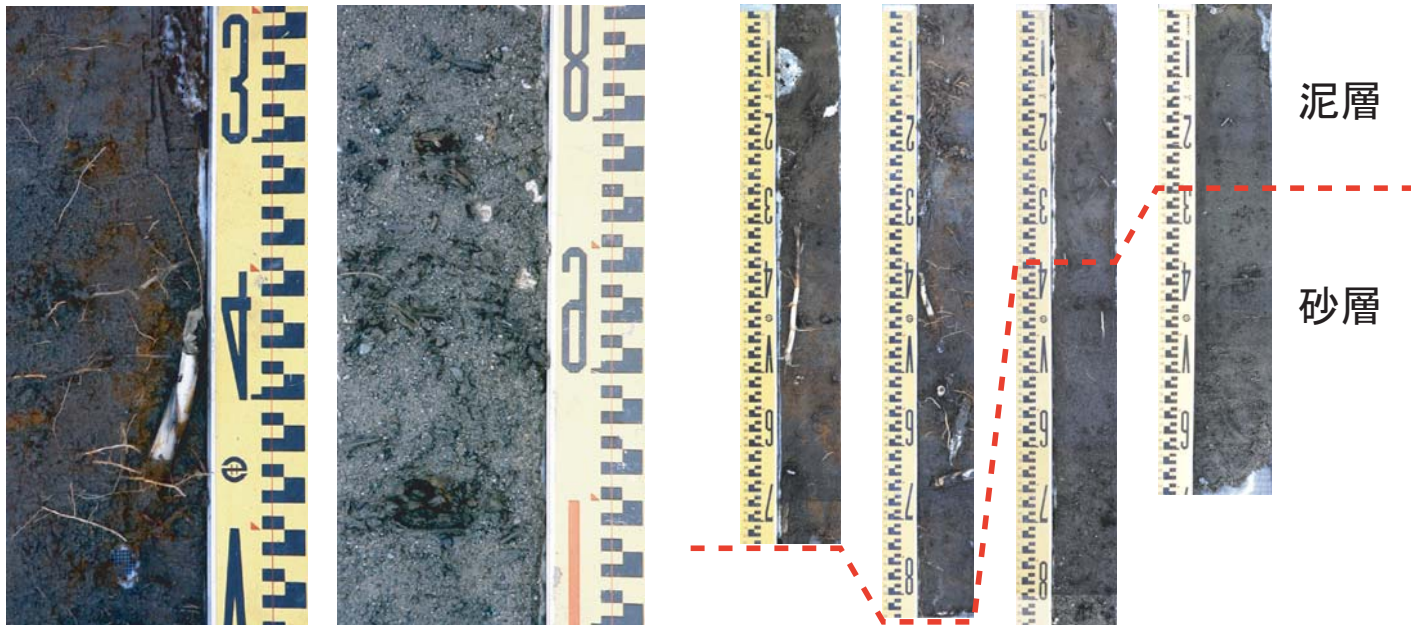


ハンディージオスライサー

- ・ハンディージオスライサーは、特許技術「地層抜き取り調査法」を応用し、個人調査において地層断面试料の採取を可能にした試料採取ツール。
- ・ハンディージオスライサーを用いることで、未固結の軟弱な地層や土壌を定方位で面的に採取することができ、地層境界や微細な構造を露頭さながらに観察できる。



規格サイズ：幅5～10cm、長さ0.5～3m
(写真：幅15cm、長さ1m)



●採取した地層の剥ぎ取り試料



●採取した地層の剥ぎ取り保存処理